

## 多文化こどもサポートセンター事業(外国籍児童の支援)

## 1 目的

保護者が日本語の理解が不十分である等の理由により、宿題をみることのできない家庭の児童に対し、家庭に代わる学習の場を提供しサポートすることにより、児童の健全な育成を図るとともに、児童を通じ外国籍住民（保護者）との交流、多文化共生社会の実現を推進する。

## 2 事業主体

地域振興会

## 3 対象者

外国にルーツを持つこども等（未就学児、小中学生）

## 4 内容

学校の宿題の手伝い、遊びを通じた日本語習得支援等

## 5 実施場所

太閤山コミュニティセンター

## 6 予算

248,000円〈地域型市民協働事業交付金〉

(内訳：謝金@1,000円×3人×50回、教材費等購入費、保険料、通信運搬費等、管理手当@850円×8h×5日)

## 7 経緯

平成19年 県が「外国籍こどもサポートプロジェクト」をスタート

平成21年 モデル地区として「放生津センター」「太閤山センター」  
を位置付け

平成23年 射水市へ事業を引き継ぎ、市民協働事業として実施

平成26年度末 利用者の減少に伴い、「放生津センター」を閉鎖

## 8 実績(平成30年度実績)

登録者25人、延べ人数 176人、開講回数 42回

内訳：パキスタン9人（小学生 3年生 2人、4年生 1人、6年生 1人、  
中学生 1年生 1人、2年生 2人、3年生 1人、  
高校生 2年生 1人）

ブラジル1人（小学校 6年生 1人）、インド1人（小学校 4年生 1人）、  
フィリピン2人（小学校 3年生 1人、5歳 1人）、

日本12人（小学生 2年生 1人、3年生 4人、  
中学生 3年生 6人、高校生 3年生 1人）

(参考1)

射水市外国人住民国籍別人員表(上位5国:平成31年1月1日現在)

凡例:( )外国人総数に占める割合

外国人総数	1位	2位	3位	4位	5位	市全体数 (日本人+外国人) ( )内は外国人総 数が占める割合
2,421人 (100.0)	フィリピン 461人(19.0)	パキスタン 379人(15.6)	ブラジル 362人(15.0)	中国 357人(14.7)	ベトナム 328人(13.5)	93,084人 (2.6)

※上記各国の母国語:フィリピン フィリピン語、英語、パキスタン ウルドゥー語、ブラジル ポルトガル語

中国 中国語、ベトナム ベトナム語

※改正入管法(平成31年4月1日施行)により、特定分野14分野に新たに在留資格が創設され、今後、外国人住民の増加が想像される。

(参考2)

地区別外国人数(平成31年3月31日現在) 凡例:( )外国人総数に占める割合

外国人総数 下段:内数 12歳以下	新湊地区	小杉地区	大門地区	大島地区	下地区	市全体数 (日本人+外国人) ( )内は外国人総 数が占める割合
2,463人 (100.0)	1,315人 (53.4)	783人 (31.8)	185人 (7.5)	158人 (6.4)	22人 (0.9)	92,867人 (2.7)
341人 (100.0)	219人 (64.2)	105人 (30.8)	7人 (2.0)	6人 (1.8)	4人 (1.2)	

(参考3)

小杉地区の12歳以下の外国人数

H20年度末 127人、H25年度末 101人、H30年度末 105人(H20対比△22人)

太閤山地区の12歳以下の外国人数

H20年度末 106人、H25年度末 78人、H30年度末 80人(H20対比△26人)

(参考4)その他の支援事業

「ワイワイにほんごたいこうやま」(射水市民国際交流協会が補助)

・概要 コースは以下の3コース ・開催日 第二・第四土曜日 19:00~20:30

- ① おとな入門クラス(日本語の基本を学ぶ)
- ② おとな活動クラス(お互いの考えや文化・習慣を知り、多様性を学ぶ)
- ③ 子供クラス(勉強のお手伝いや進学相談)

・場所 南太閤山コミュニティセンター ・主催 太閤山日本語グループ